iPadの研究 5

大河ドラマと地域メディア連携の電子書籍
「Location Base Magazine 龍馬伝」登場

iPadやiPhoneを手に 龍馬ゆかりの地を歩く新しい旅体験

2010年10月4日、博報堂DYメディアパートナーズ（以下、博報堂DYMP）と
NHKエンタープライズ（以下、NEP）は共同で、
『大河ドラマ 龍馬伝』をモチーフにした位置連動型の
電子マガジン「Location Base Magazine龍馬伝」を発表した。

文●上路健介
Joji Kensuke
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ チーフ・テクニカルメディアプロデューサー

ハイクオリティな次世代アプリケーションとして注目

日本に広く点在する龍馬ゆかりの地。その地域の自治体や地元タウン誌等と連携し、それぞれの場所ごとに、ドラマのストーリーと地元から発信される地域情報を結びつけて配信された、業界初の位置連動型の電子マガジン「Location Base Magazine龍馬伝」は、注目のスマートデバイス「iPad」や、普及が著しいAndroidなどのスマートフォンに、マルチ対応するハイクオリティな次世代アプリケーションとして注目を集めた。

また、サービスの開発だけに留まらず、楽天トラベルと共同で旅行業界としても初めての「アプリで歩くツアー」をリアルに実施したことで、今後、このようなテレビコンテンツとの連携する位置連動サービスは、観光産業や地域経済にも貢献すると期待されている。

テレビで取り上げられた場所の効果

ツイッター等が牽引するソーシャルメディアの時代となった今でも、「テレビで取り上げられた場所」という認知が、実際の場所に与える集客効果は大きい。グルメランキング番組などで紹介された飲食店は、翌日必ず長蛇の列になっていることからもわかる。

博報堂DYMPは、2009年から位置情報とテレビ番組映像の親和性が高いことに注目し、テレビ映像に位置情報を付加して保存できるマルチ動画変換配信サービス「Rocket Box」（ロケットボックス）を開発。「テレビで紹介された場所をその場所に来たときに見せる」という新しいテレビ映像活用サービスをいくつか展開した。

Rocket Boxは、動画データをあらゆるデバイス向けに自動変換し、さらにその映像がどこの映像なのかという位置情報を、簡単に映像に付加して配信できるサービスだ。

iPadの登場と電子書籍

2010年5月、米Apple社が発表したタブレット端末「iPad」の登場により、メディア業界には「電子書籍」という新しいメディアが注目を集めた。iPadはネットワーク型の電子端末なので、動画の再生はもちろん、位置情報サービスにも対応する。

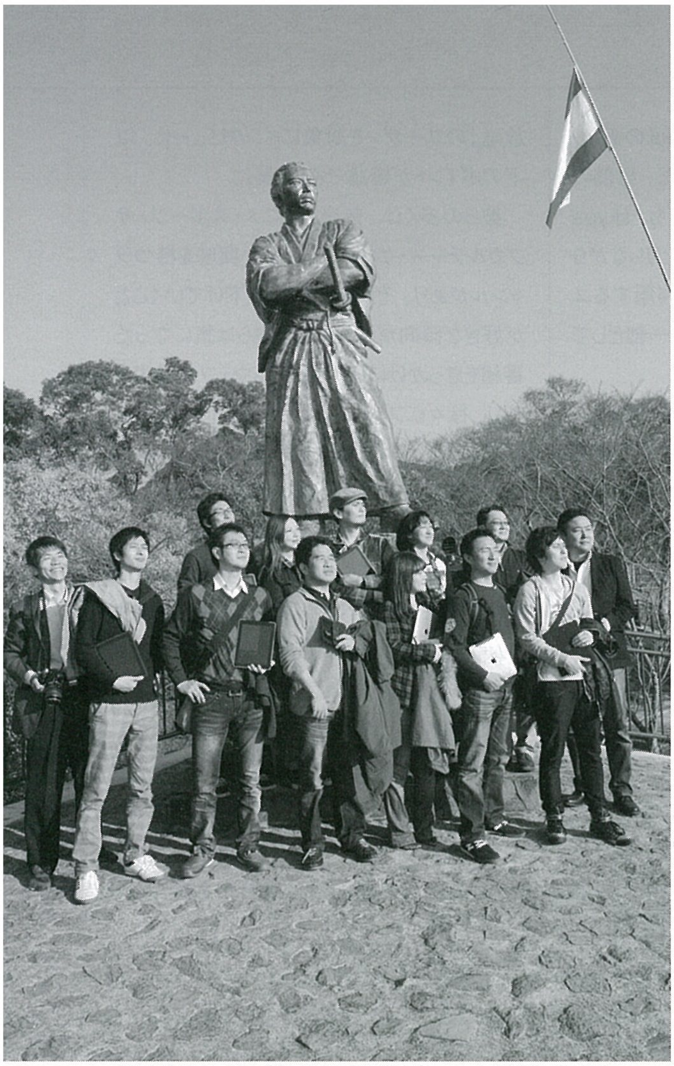
これらの波を受け、博報堂DYMPは、動画や位置情報などの多機能な電子書籍を簡単に構成して配信できるサービス「Rocket Press(ロケットプレス)」を開発した。

大河ドラマ×地元タウン誌

1年という長い期間で放送されるNHKの大河ドラマは、そのロケ地や物語のゆかりの地が存在する地域が、毎年必ずといっていいほど観光地化する。そして2010年の大河ドラマは、日本を駆け巡った幕末の英雄、坂本龍馬の人生を描く『龍馬伝』。

NHKエンタープライズとの共同体制により、龍馬伝のストーリーに紐づいた場所と連携する位置連動型電子マガジン「Location Base Magazine龍馬伝」が実現した。この電子マガジンは、各ゆかりの地をテーマにそれぞれ発行され、タイトルを選べば画面下部の地図も連動して動く、という直感的な位置認識を重視したインターフェイスになっている。

また、このアプリケーション最大の特徴は、前半がドラマや放送のコンテンツから構成された物語中心のコーナーになっており、後半のコーナーである「HOT SPOT」（ホットスポッ



実現したリアルツアー「龍馬伝アプリで歩くツアー in 長崎」の記念写真

ト)は、地元の自治体やタウン誌から提供された現地の旬なスポット情報になっている。「書籍」に適したコンテンツを、ということで、ある意味気軽に発想した地元タウン誌との連携だったが、今回、開発チームが最も驚かされたのは、この地元のタウン誌が持つ情報のクオリティと一つひとつの店舗に密着した繊細な営業体制だった。地方テレビ局の営業でも、地元の飲食店それぞれに窓口を持ち、今今のセールス情報を安定して管理しておくことは難しい。また書籍に耐え得る高画質な写真やテキスト情報は、放送局が通常持ち合わせているモノではない。逆にタウン誌側から見ても、テレビ番組のような強いフックを持つコンテンツとの連携は通常はなく、観光客からの知名度という意味でも、県外からの観光客に、タウン誌が手に取られることはそれほど多くはない。

今回実施されたテレビドラマという強いフックと、地元タウン誌が発信する地域密着情報との融合は、iPadやスマートフォンという新しいデバイス向けのサービスとして実現することで、最良のカタチを得たのかもしれない。

『龍馬伝』というフックで、アプリケーションをインストールしたユーザーは、ゆかりの地で起こった物語をじっくり堪能した後、その場所周辺の旬なスポットの情報をそのままシームレスに眺めることで、その場所への旅行動を具体的にイメージすることができるのである。

ついに実現したアプリで歩くツアー

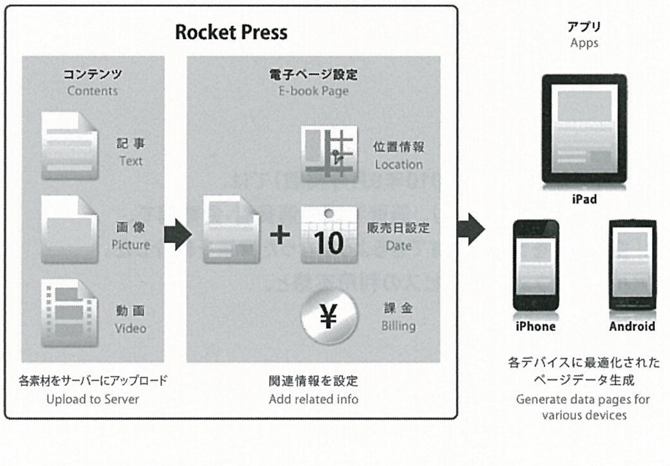
我々開発チームが、アプリケーションが完成してから自然に発想したのは「ドラマ×スマートフォン×旅」が数年後、当たり前になっているのではないか、という次世代の旅のイメージだった。このイメージを確かめるべく、楽天トラベルとITニュースサイト「TechWave」(テックウェーブ)とのタイアップにより、ついに「龍馬伝アプリで歩くツアー in 長崎」が実現した。

11月20日～21日に実施されたこのツアーには、東京からだけでなく京都、福岡、佐賀、そして地元長崎から多種多様な業種や年齢層の方が参加し、iPadやiPhoneを片手に、龍馬ゆかりの地を歩くという、新しい旅体験を実現し、地元メディアや自治体から大変好評の声をいただいた。

地域振興に繋がる「テレビ×位置連動マガジン」

地方テレビ局が新規事業を立ち上げる際、必ず課題になるのが、営業体制である。今回実現したテレビ映像二次活用サービスと、タウン誌営業ネットワークの連携は、今後、地方の観光サービス提案や、ローカルメディアビジネスを推進する上で大変有効なカタチと言える。

また、iPad等に代表されるような位置情報に連携できる携帯端末は、今後さらに進化し、情報配信だけではない新しい「その場所だけの体験」を訪れたユーザーだけに提供するようになるだろう。そのために有効な新サービスの試行錯誤やノウハウを積み重ねていくことが、今後の地域メディアの活路を開いていくと確信している。

Rocket Press

Rocket Pressは多機能な電子書籍アプリを簡単に構成し、スマートデバイスにマルチ配信できるデータベースサービスです。